

【施設全体の共通事項等】

- ◆動線等、機能構成のイメージについては、練馬区立美術館再整備基本構想P27~28の機能構成図（想定）を参照すること（意図や機能等を理解のうえ、異なる提案も可能とする）。
- ◆美術の森緑地も含めて、施設全体でユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮すること。
- ◆文化庁の「文化財公開施設の計画に関する指針」に基づく建物とすること。
- ◆施設全体で、文化財IPMの考え方にに基づき、一般利用部分、展示室、収蔵庫等、それぞれに適した管理ができること。
- ◆施設全体で、LAN（有線／無線）や電源について利用可能な環境であること。
- ◆可能な限り諸室においては個別空調とし、さらに中央管理も可能とすること。
- ◆下記面積は目安であり、諸室規模の参考とすること。練馬区立美術館再整備基本構想P26の「リニューアル後の諸室機能・規模」と相違がある場合、本諸元表を優先すること。

部門名	室名	規模目安 (m <sup>2</sup> )	用途等	機能・留意点等	
共用部	共用	750	①エントランスホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館・図書館来館者、一般利用者が気軽に利用できる無料の交流スペース。</li> <li>・美術館・図書館が融合する施設として魅力ある空間とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい開放感のある空間が望ましい。</li> <li>・美術の森緑地の利用者が気軽に入っていける工夫。</li> <li>・エントランスホールから入り、各室へ振り分ける動線を想定。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書</li> <li>・美術作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール内に図書を設置し、閲覧可能とする。</li> <li>・ホール内に美術作品を設置し、鑑賞可能とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館・図書館が融合する施設として魅力ある空間となるよう配置等を工夫する。</li> <li>・図書については、図書館の開架図書の一部を設置する。</li> <li>・具体は提案による。ただし、閲覧室（図書館専用部分）とホール内に設置した開架図書の合計が、想定している開架図書数（規模）となるよう調整すること。</li> <li>・図書館専用部分とホール内など、施設内の本の移動・管理を可能とする機能。</li> <li>・ホール内の図書の閲覧は、休憩場所やカフェ等で気軽に読むことを想定（閲覧のための場所という位置づけではない）。</li> <li>・美術作品は、現代アートの立体作品などを想定（具体は提案による）。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像モニター</li> <li>・情報検索ライブラリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館・図書館の収蔵資料データベースの検索・閲覧を行う</li> <li>・過去の展覧会（美術館、オープンギャラリー）に関するアーカイブの検索・閲覧を行う</li> <li>・周辺エリアへの回遊を促進する情報を提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体は提案による（大型モニター、情報検索用端末（マルチ画面タッチパネル式モニター等））。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージアムショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館や図書館に関わる商品を販売する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営者など詳細については未定。</li> <li>・展覧会によって特設グッズコーナー等、通常よりも広い販売スペースが必要になる場合は、企画展示室の一部を使用する想定。</li> <li>・具体は提案による。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳及びおむつ交換のための個室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流し台、給排水設備など授乳室に必要な機能。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェレストラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食サービスを提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館または図書館の閉館時にも利用可能な想定。</li> <li>・美術の森緑地へのオープンカフェの展開を視野に入れる。</li> <li>・運営者や提供するサービスの詳細については未定。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて総合案内等を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共用部の運営方法を含め、今後詳細を検討。</li> </ul>

部門名	室名	規模目安 (㎡)	用途等	機能・留意点等
	②多目的室	300	・講演会、ワークショップ、コンサート、映像上映会、展示等、多目的に利用する。 ・美術館、図書館の公用利用と一般利用（貸出）を兼ねる。 ・室を2～3分割し、同時に複数の活動をする場合にも対応する。	・美術館展示室、図書館閲覧室への音漏れがないよう、配置の工夫や防音性能の確保など、必要な対策を講じる。 ・防音性のある可動壁により部屋の分割利用を可能とする。 ・天井高は、映画上映会、講演等での映写を想定した高さを確保。 ・椅子、机などを格納する備品倉庫を備える（講演等で使用する簡易舞台などの格納も想定）。
	③会議室	50	・打合せや会議のほか、イベント等実施時に託児室としても利用する。 ・美術館、図書館の公用利用と一般利用（貸出）を兼ねる。	・託児室としての利用を考慮した配置、機能とする。
	④その他共用	1,860	廊下・階段、エレベーター、トイレ、救護室等	・ユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮する。 ・施設規模や動線等を考慮し、必要な機能、規模、最適な配置を検討する。
	共用部面積	2,960		
1 収集 保存	①収蔵庫	600	・収蔵作品を収蔵する。	・恒温恒湿環境を実現するための断熱層や空調設備。 ・2つの部屋に分け、それぞれで温湿度の調整を可能とする（必須ではない。提案による）。 ・地下ではなく地上階への設置が望ましい（提案による）。
	②収蔵庫前室	100	・収蔵庫の前室として設置する。	・恒温恒湿環境を実現するための断熱層や空調設備。
	③一時保管庫	50	・借用資料のならし・保管を行う。	・恒温恒湿環境を実現するための断熱層や空調設備。
	④搬入口、トラックヤード、荷解室	150	・借用資料や資料貸出の搬出入に使用する、美術資料専用のスペース。 ・トラックヤードから搬入した資料を整理する。	・4tトラックを収容し、シャッター等で閉鎖できる空間とする。 ・防犯上の安全性と温湿度環境の変化を抑えた空間を確保して搬出入作業を行える。
	⑤資料動線	※共用部その他共用に含む	・荷解室から、収蔵庫・展示室に至る資料動線。	・廊下、エレベーター等。台車による移動、美術作品運搬に適した規模、仕様。
	小計	900		
2 調査 研究	①美術館書庫・倉庫	50	・調査研究に使用する図書・資材等を保管する。	・研究で使用した美術図書、資料等は、必要なものを除き、基本的に貫井図書館の資料として移管する運用を想定。
	小計	50		

部門名	室名	規模目安 (㎡)	用途等	機能・留意点等	
美術館	3 展示 公開	①常設展示室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクションを展示する。</li> <li>・展示替えに対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクション、展覧会の方向性等を踏まえ、展示に適した仕様・配置とする。</li> <li>・バリアフリーなど誰でも気軽に鑑賞できる環境とする。</li> <li>・天井高は5m程度を想定。</li> <li>・外光は完全に遮断する。</li> <li>・有料区画、無料区画どちらでも対応できる動線、配置とする。</li> <li>・その他空間の配置など具体は提案による。</li> </ul>	
		②企画展示室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い作品展示を行う（大規模企画展や、重要文化財などの展示も実施する）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会の方向性等を踏まえ、展示に適した仕様・配置とする。</li> <li>・バリアフリーなど誰でも気軽に鑑賞できる環境とする。</li> <li>・天井高は5m程度を想定。</li> <li>・外光は完全に遮断する。</li> <li>・展覧会によっては、特設グッズコーナー等で企画展示室の一部を使用する想定。</li> <li>・企画展示室の一部（400㎡程度）は、一般利用（貸出）可能とし、動線等を考慮すること（通常は、有料区画であり美術館資料搬入口を使用するが、一般利用時は、無料区画となり区民ギャラリー搬入口を使用して展示室へつながる動線、配置とする）。</li> <li>・その他空間の配置など具体は提案による。</li> </ul>	
		③展示準備室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示準備作業や展示備品の保管を行う。</li> </ul>		
		④美術館ロビー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館専用のホワイエとして、券売や休憩等で利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館券売窓口、案内等。</li> <li>・コインロッカーなどを設置。</li> </ul>	
		小計	2,000		
	4 交流	①区民ギャラリー (専用搬出入口、主催者控室、備品倉庫)	160	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の美術等に関わる活動の発表の場として、貸し出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に、絵画、版画、工芸、写真等の展示に対応する仕様とする。</li> <li>・主催者控室や備品倉庫を含む。</li> <li>・美術館の資料搬出入口、動線とは別に搬出入口、動線を確保すること。</li> <li>・その他配置など具体は提案による。</li> </ul>
		②創作室	150	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術作品の創作活動を行う。</li> <li>・企画展と連動したイベントなど、美術館が主催するプログラムの他、施設貸出にも対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気設備や防音・振動、電源、給排水設備など創作室の活動に対応した仕様とする。</li> <li>・参加者の荷物置場や、備品倉庫などを含む。</li> <li>・その他配置など具体は提案による。</li> </ul>
		③サポーター活動スペース	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動を行う作業スペース、サポーターの控室としても利用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業台や椅子、備品等を設置。</li> <li>・配置など具体は提案による。</li> </ul>
		小計	360		

部門名	室名	規模目安 (㎡)	用途等	機能・留意点等	
5 管理 運営	①事務・学芸員室	280	・美術館スタッフの執務空間。学芸員室も兼ねる。	・中央監視（サブ）設置	
	②会議室 1	50	・美術館スタッフが会議や打合せを行う。 ・業者などとの打合せにも利用する		
	③会議室 2	70	・外部研究者との作品研究や、貸出などに際しての作品のレクチャーなど。	・共用部と近い位置に配置。	
	④館長室・応接室	30	・館長の執務空間。来客対応にも活用する。		
	⑤管理諸室	100	・更衣室、給湯室、倉庫、委託事業者（夜間警備含む）休憩室等	・中央監視（メイン）設置 ・委託業務の範囲については未定。	
	小計	530			
美術館面積		3,840			
図書館	①一般開架スペース	780			
			・一般開架・ 閲覧コーナー	・バリアフリーに配慮した空間に一般図書、地域資料、参考資料、視聴覚資料などを配架する。 ・静かな閲覧席を設置し、利用者が読書等に集中できる環境を整備する。	・静かな閲覧席を現状（ブラウジングスペース含めて80席程度）以上設置 ・視聴覚資料の視聴席を現状（1席）以上設置 ・パソコン等の端末を配置した閲覧席を現状（4席）以上設置
			・貸出し・ 返却カウンター	・貸出し・返却やレファレンス等を行う。	
	・予約本受取コーナー	・利用者が自身で予約資料等を借りられる。	・ICタグの導入などとあわせて設置を検討する。 ・予約資料等の書架（3,000点分）と自動貸出機を設置する。 ・効率的な施設運営の観点などから必要な場合は独立した部屋として設置する。		
	②ブック・アート・ キッズスペース	・子どもが本やアートに親しみ、感じたことなどを表現できる場所として新設する。	・主に小学生までの子どもが利用しやすいスペースとする。 ・静かに読書できる閲覧席の確保や工作によって児童開架の蔵書が汚破損等しないよう各コーナー間のゾーニングを工夫する。 ・親子が一緒に過ごすことだけでなく、子どもがイベントに参加する間、親が一般開架や美術館等でゆっくり過ごすことも想定し、設備等を検討する。		
		・児童開架・ 閲覧コーナー	・従来の児童開架・閲覧席に加えて、黒板等を配置し、自由にお絵描きや工作ができるなど、アート要素を追加する。	・閲覧席は現状（8席）以上の設置 ・閲覧席とは別に、工作用の席を設置 ・児童用貸出し・返却カウンターを設置	
		・おはなしの部屋 （仮称）	・利用者が靴を脱いで自由に使える空間であり、おはなし会等のイベント（子どもの参加者15人程度を想定）にも活用できる。	・おはなし会などのイベント時にはカーテンやシャッター等で周囲に声が漏れず、また、イベントに参加した子どもが読み聞かせ等に集中できるような工夫を行い整備する。	
	③青少年スペース		・青少年向けの図書を配架する。	・主に中高生が利用しやすいスペースとする。 ・閲覧席は現状（12席）以上の設置 ・グループ学習室としても活用できる環境整備を検討する。	
	2 対面 朗読室	①対面朗読室	20	・対面朗読等を実施する。	・静かな対面朗読室を二室設置する。

部門名	室名	規模目安 (㎡)	用途等	機能・留意点等
3 視聴 覚室	①視聴覚室	100	・イベント、団体への貸出し、臨時閲覧室としての開放等を行う。	・定員は現状（78名）程度 ・声を出さずイベント等を行うため防音性の壁が必要である。また、大人数が集まることを想定した換気設備が必要である。
	4 管理 運営	150	①事務室	・図書館職員が事務処理やイベント準備等に利用する。
			②休憩室	・図書館職員が休憩スペースとして利用する。
			③更衣室	・図書館職員が更衣室として利用する。
			④バックヤード	・図書館職員が図書資料等の補修や仕分け等の作業を行う。
5 閉架	①閉架スペース	150	・図書資料等を保管する書庫や、イベント用品等を保管する倉庫を設置する。 ・図書館職員が図書資料等の仕分け等の作業を行う。	・電動集密書架による書庫を設置
	図書館面積	1,200		・エントランスホール（共用部）に閉架図書の一部を設置する。 ・具体は提案による。ただし、閉架図書の蔵書数は、図書館の開架とエントランスホール内に配架する蔵書の合計数となるよう調整すること。 ・蔵書数や設計上の配慮等は「練馬区立貫井図書館の再整備に係る基本的な考え方」を参照すること。
合計		8,000		
屋外			駐車場	・障害者用駐車場、事業者用駐車場を設置。 ・団体観賞用バスが1台駐車できるスペースまたはバス寄せを設置。
			駐輪場	・80台程度の駐輪を可能とする。
			その他	・屋外用コンセント ・道具や手を洗うための水場等